

(別紙様式3)

令和2年3月30日

研究開発完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住 所 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70
管理機関名 白い森人創生プロジェクトチーム
代表者名 山形県小国町長 仁科 洋一

令和元年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発完了報告書を、下記により提出します。

記

1 事業の実施期間

平成31年6月25日(契約締結日)～令和2年3月31日

2 指定校名・類型

学 校 名 山形県立小国高等学校
学校長名 地主 好
類 型 地域魅力化型

3 研究開発名

白い森人 創生プロジェクト

4 研究開発の概要

白い森学習の一環として、地域の諸課題を研究テーマとして設定し、大学の研究者等や地域関係者からの協力・指導を得ながら研究を行う探究型の学習活動である「地域文化学」を総合的な学習(探究)の時間の中で実施している。現在1年次を対象として行われている地域文化学の名称を「白い森未来探究学」とし、これを3年間かけて2、3年次まで拡充するとともに、地元産業界等と提携してより地域に密着した実践的な研究活動に発展させる。また、教育課程外の取組においても、実践的な白い森未来探究学で得られた知見や経験を生徒の出発点とし、地元産業界等の協力の下、農林業に係る営利活動体験、企業発信型の長期間にわたるインターンシップへの参加など、地域に密着した実践的なキャリア教育を行う。さらに、これらの過程において、大学との連携、ICTを活用した遠隔教育の導入、アントレプレナーシップ教育等により積極的に外部人材等を活用することで、生徒に地域内だけにとどまらない幅広い分野で新しい価値を提供するようなカリキュラムを研究開発する。

5 教育課程の特例の活用の有無

特になし

6 管理機関の取組・支援実績

(1) コンソーシアムについて

①コンソーシアムの構成団体

小国町、小国町教育委員会、山形県立小国高等学校、山形県教育委員会、山形県立小国高等学校同窓会、山形県立小国高等学校後援会、山形県立小国高等学校PTA、小国町認定農業者協議会、小国町森林組合、クアーズテック株式会社小国事業所、日本重化学工業株式会社小国事業所、小国町商工会、学識経験者

②実施日程・実績の説明

実施日程	実績の説明
令和元年5月28日（第1回）	第1回会合 第1回山形県立小国高等学校学校運営協議会において「地域との協働による高校改革推進事業」の内容及び学校運営協議会をコンソーシアム化し、事業展開を図ることを承認。
令和元年8月27日（第2回）	第2回会合 ・キャリア教育及び白い森未来探求学の進捗状況並びに島根県立津和野高校、隠岐島前高校への先進地視察報告 ・地域との協働による高校改革推進事業における将来の地域ビジョン及び求める人材像について議論。事務局案について、再度、検討することを了承。
令和元年10月21日（第3回）	第3回会合 ・白い森未来探求学の進捗状況及び全国高等学校小規模校サミットの結果について報告 ・地域との協働による高校改革推進事業における展開手法と令和元年度の位置づけを説明し了承を得る。 ・学校教育目標と育む人材像について提案、決定。
令和2年2月25日（第4回）	第4回会合 ・今年度の活動のまとめと課題の整理 ・次年度の取り組み方策の決定

(2) カリキュラム開発等専門家又は海外交流アドバイザーについて

①指定した人材・雇用形態・高等学校における位置付けについて

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科学科長 岡崎エミ氏（都度依頼し、謝礼支払い）

②実施日程・実績の説明

実施日程	実績の説明
令和元年9月17日	第1回指導 ・令和元年度事業の進め方について指導 ・全国サミットへの対応について協議
令和元年10月7日	第2回指導 ・将来の地域ビジョン及び求める人材像等の設定の在り方について ・キャリア教育の進め方（企業ヒアリングの実施等）について ・地域文化学講座の実施状況及び今後の予定について ・第3回学校運営協議会の内容について ・全国サミットへの対応について等
令和元年10月21日 から22日	第3回指導 ・第3回学校運営協議会への出席 学校経営の中間総括について 学校教育目標と育む人材像の共有について 地域との協働による高校改革推進事業の展開と令和元年度の位置づけについて ・第3回学校運営協議会を受けての事後指導について等
令和2年1月29日	第4回指導 ・令和元年度事業について指導 ・第4回学校運営協議会の内容について ・次年度の取り組み方法について
令和2年2月21日	第5回指導 ・令和元年度事業の総括について指導 ・第4回学校運営協議会の持ち方について ・次年度の取り組み方法について
令和2年3月26日	第6回指導 ・令和元年度事業の総括について指導 ・次年度カリキュラム、白い森未来探求学の編成について等

(3) 地域協働学習実施支援員について

①指定した人材・雇用形態・高等学校における位置付けについて

小国町統括的な地域学校協働活動推進員（兼）CSディレクター 渋谷洋司氏
 （小国町が委嘱し、当該業務を担当）

②実施日程・実績の説明

実施日程	実績の説明
令和元年9月17日	第1回カリキュラム開発等専門家協議への参加 ・令和元年度事業の進め方について ・全国サミットへの対応について協議
令和元年10月7日	第2回カリキュラム開発等専門家協議への参加 ・将来の地域ビジョン及び求める人材像等の設定の在り方について ・キャリア教育の進め方（企業ヒアリングの実施等）について ・地域文化学講座の実施状況及び今後の予定について ・第3回学校運営協議会の内容について ・全国サミットへの対応について等
令和元年10月21日 から22日	第3回学校運営協議会への出席 ・学校経営の中間総括について ・学校教育目標と育む人材像の共有について ・地域との協働による高校改革推進事業の展開と令和元年度の位置づけについて等
令和2年1月16日	小国高校との調整会議 ・今年度の白い森未来探求学、キャリア教育等の振り返り及び次年度の方向性について協議
令和2年1月29日	第4回カリキュラム開発等専門家協議 ・令和元年度事業の総括について ・第4回学校運営協議会の持ち方について ・次年度の取り組み方法について
令和2年3月26日	第6回カリキュラム開発等専門家協議 ・令和元年度事業の総括について ・次年度カリキュラム、白い森未来探求学の編成について等

(4) 運営指導委員会について

①運営指導委員会の構成員

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科学科長 岡崎 エミ氏
 島根県立津和野高校魅力化コーディネーター 牛木 力氏
 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 阿部 剛志氏

②実施日程・実績の説明

実施日程	実績の説明
令和元年10月24日（第1回）	第1回運営指導委員会 ・令和元年度地域との協働による高校教育改革推進事

	業の進捗状況及び今後の事業計画について説明し、指導を得る。事業の方向性について確認を得る。
令和2年2月25日（第2回）	第2回運営指導委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・学校側から、令和元年度の三年生進路状況及び保護者アンケート結果等学校評価について説明。 ・令和元年度地域との協働による高校教育改革推進事業の総括と令和2年度の取り組み方針等について説明し、指導を得る。

(5) 管理機関における取組について

①管理機関（コンソーシアム含む）における主体的な取組について

実施日程	実績の説明
令和元年7月10日	高校生議会、議員との意見交換会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・小国高校3年生25名出席。うち、一般質問3名。
令和元年7月25日	第1回実務者レベル会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・実務者レベル会議の持ち方、第2回学校運営協議会の内容、事業の進め方等について協議 ・今後の事業実施内容及び経費支出予定の把握
令和元年7月30日から 31日	第2回全国高等学校小規模校サミットの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・小国高校ほか17校参加 参加高校生数134名（うち小国高校生72名） 引率者数 25名、一般参加者 12名
令和元年8月21日	第2回実務者レベル会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回全国小規模校サミット、将来の地域ビジョン及び求める人材像等の回答状況について報告 ・今後の事業実施内容及び経費支出予定の把握 ・研修会の実施についての協議
令和元年9月12日	置賜地区青少年育成連絡協議会及び小国町青少年育成推進委員会が主催する「生徒と地域の大人の対話会」へ参加。 <ul style="list-style-type: none"> ・小国高校生1, 2年生46名、小国中学校3年生18名、地域の大人30名参加。
令和元年9月24日	第3回実務者レベル会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校運営協議会の結果及び前回以降の事業実施状況報告 ・全国サミット、先進地視察、研修会開催、教員加配等について協議

令和元年10月23日から 25日	地域との協働による高校教育改革推進事業全国サミットへ牛木運営指導委員、小国高校長岡教務主任、小国町教育委員会仁科課長、小国町役場総合政策課高橋主査の4名が参加
令和元年10月28日	先進地視察 ・宮城県石巻西高等学校が主催する「まなびフォーラム」に小国高校小松養護教諭、鈴木講師が参加
令和元年10月30日から 11月1日	先進地視察 ・青森県立八戸商業高校、青森県立八戸東高校及び岩手県立大槌高校へ小国高校鈴木教頭が視察実施
令和元年11月8日	第4回実務者レベル会議の開催 ・全国サミットの概要報告 ・研修会の開催について ・令和2年度事業計画及び予算案の検討
令和元年11月19日	地域との協働による高校改革推進事業研修会 ・小国高校の取り組み等について報告 ・大正大学地域構想研究所浦崎太郎教授による講演 演題「未来の高校を小国から」
令和元年12月7日	小国町白い森保小中高一貫教育推進協議会主催、「白い森教育フォーラム2019」へ小国高校生22名が参加。今年度の地域文化学、全国小規模校サミット、アメリカ修学旅行等の内容について発表。
令和2年1月20日	埼玉県立総合教育センター主催、「地域創生セミナー」へ小国高校阿部養護教諭、板垣教諭、小国町役場総合政策課高橋主査が事例発表者として参加。
令和2年1月25日	小国町主催「白い森小国ビジネス創出塾」へ小国高校生2名が参加。それぞれ起業アイデア賞、オーディエンス賞を受賞。
令和2年1月31日から 2月1日	先進地視察 ・岡山県立和気閑谷高等学校主催「探求型学習発表会」へ小国高校佐藤、早坂教諭が参加
令和2年2月22日	東北学院大学で開催された「全国高校生MYPROJECT AWARD 2019」東北地域大会に小国高校生2名、教諭3名が参加。
令和2年2月23日から24日	東北芸術工科大学主催「第6回SCH（スーパー・コミュニティ・ハイスクール）シンポジウム」に小国高校生7名、教諭2名がパネラーとして参加。
令和2年2月28日から 3月1日（中止）	先進地視察 ・島根県立津和野高等学校へ小国高校教諭が視察予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止。

令和2年2月29日	山形テレビ「提言の広場」に小国高校生3名が出演し、小規模校サミットを中心とした今年度の様々な活動で得た成果や地域との協働活動における思いや意義について発表した。
令和2年3月13日（中止）	若手企業人との意見交換会が、新型コロナウイルス感染拡大により中止。

<別添DVD>

- ・YTS山形テレビ「提言の広場」第2505回「地域連携の学習で人材育成」

(6) 実績の説明

今年度の事業展開において、地域との協働による高校教育改革推進事業全国サミットへの参加や他の先進事例の状況把握から、高校と地域をつなぎ、より个性的かつ独自のカリキュラム開発とその展開を図る上で、高校の魅力化を進めるコーディネーターの確保と配置が重要であることを強く認識した。そのため、コーディネーター確保に向け、小国町令和2年度予算において、当該事業を専門的に担当する高校魅力化コーディネーターの確保に要する経費を盛り込むこととしている。併せて、コーディネーター確保の一手法として地域おこし協力隊制度の活用を念頭に進めていく。

また、本町における少子化傾向は今後も継続することが見込まれることから、小国高校における独自のカリキュラム開発等と平行して、全国から入学者を募集していくことについても併せて検討していく。

7 研究開発の実績

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
科目「理科」における地域での探究学習			2回									
科目「国語・家庭(合同授業)」における探究学習				1回								
科目「家庭」における地域・校内での探究学習						2回	1回					
科目「体育」における地域・校内での探究学習						1回	1回					
科目「保健」における探究学習										1回		
科目「美術」における探究学習								1回	1回			
科目「英語」における地域での探究学習							1回					
総合的な探究の時間における探究学習		1回	2回	6回	1回	3回	4回	3回	3回			
「LHR」における探究学習	1回											
課外活動における地域との協働活動	2回	1回	3回	11回	2回	2回	10回	4回	3回			

(2) 実績の説明

①研究開発の内容や地域課題研究の内容について

これまで1年次完結であった地域課題解決型探究学習を「白い森未来探究学」という総称で3年間取り組む学習に改編する。1年次は「地域文化学」という名称で、興味・関心・意欲を高めることを目的に、地域内外の指導者による講義やフィールドワークをふんだんに盛り込み、研究の方向性を見出す学習活動とし、2年次は「地域実践学」とし、個々が設定した課題に基づき、具体的な調査、研究活動を行う。3年次は「地域構想学」として2年次にまとめた成果から新たな提案を行い、3年間の総まとめとする。以上のような計画の下、初年度である今年度は1年次の「地域文化学」において別紙資料のように講義、授業を実施した。1月から開始した「Let's talk」では研究を開始する際の疑問等について教職員が一人一人の生徒に個別に対応する作業を行っている。

<添付資料>

- ・令和元年度 各教科および課外等における地域と協働した活動実績

②地域との協働による探究的な学びを実現する学習内容の教育課程内における位置付け
各教科・科目や総合的な学習（探究）の時間、特別活動（LHR、学校行事等）の中で実施。

③地域との協働による探究的な学びを取り入れた各科目等における学習を相互に関連させ教科等横断的な学習とする取組みについて

地域で活躍する方々の協力や地域内施設の活用による能動的な授業を積極的に行っている。ジェンダーに係る多様性、人権の問題など学際的な内容を国語科、家庭科が合同企画で扱う授業や、保健体育科で実施した、地域の方々の指導による体験的スポーツ活動を通して地域の魅力発見につなげる授業など、多角的視野での授業を試行的に行った。

④類型毎の趣旨に応じた取組について

地域課題の発見・解決を通し新しい価値観を創造することを基本理念に地域との協働による多様な活動を精力的に企画・実施した（総合的な探究の時間、授業、特別活動等）。座学だけでなく地域の外部講師との対話、協働活動や生徒が自ら校外に出ていくフィールドワークなどの活動を多く取り入れることで、自己と他者、地域との関わりを体験的に学ばせることを重視しながら、毎回振り返りの時間を設定し、学習内容のより深い定着を図った。

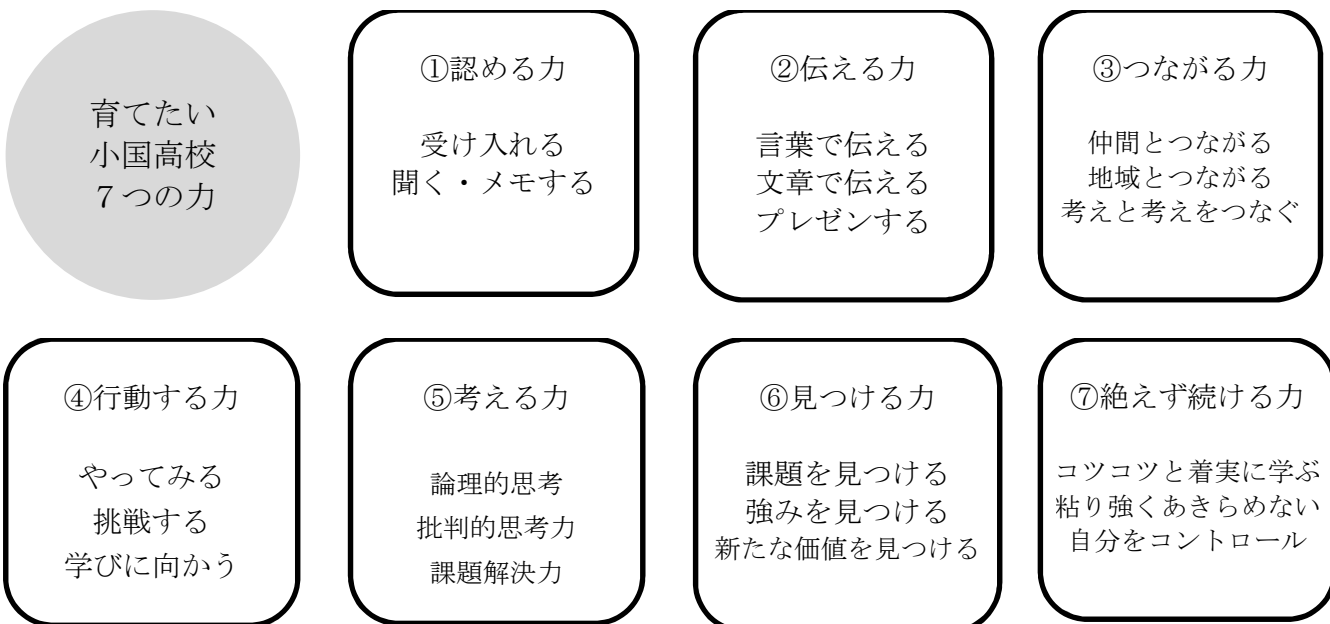
⑤成果の普及方法・実績について

地域の教育的イベントにおける発表や報告、町報や新聞折込みによる町民への周知、地元ショッピングモールでの成果物の展示等を行った。

(3) 研究開発の実施体制について

①地域との協働による探究的な学びを実現するためのカリキュラム・マネジメントの推進体制

育てたい生徒像の共有とともに、校内に教務課員を中心とした「プロジェクトコアチーム」を作り、カリキュラム開発専門家を交えて長期的、短期的な展望での地域の人的、物的資源の活用、教科横断的な視点での学習活動の推進体制が整った。



②学校全体の研究開発体制について（教師の役割、それを支援する体制について）

全職員が分担して先進校視察や各種研修会参加を行い、情報共有を全体で行うという形を基本に進めている。地域と協働した学習活動の企画運営はプロジェクトチームのリーダーである教務主任の主導で学年や授業の担当者が外部と連絡調整を行い、該当する学年とともに企画運営に当たるといった形で進めた。

③学校長の下で、研究開発の進捗管理を行い、定期的な確認や成果の検証・評価等を通じ、計画・方法を改善していく仕組みについて

プロジェクトコアチームを含めた実務者レベル会議を定期的で開催し、学校長に進捗状況を報告・説明した上で様々な指導助言を求め、校内組織の改善や必要な支援等を検討している。

④カリキュラム開発に対するコンソーシアムにおける取組について

定期的な会議において、進捗状況を報告し、総合的な視点からの助言を求めた。第4回目の会議では、実働組織として何ができるかについて意見交換がなされ、キャリア教育の核となる「企業発信型長期インターンシップ」やアントレプレナーシップ教育、地域との協働による教科横断的な授業を支援する外部人材の確保などが話題に上った。その中で、町の代表からは、地域と学校をより安定的につなぐ「学校魅力化コーディネーター」の配置決定が報告されたことは今年度の取り組みの大きな成果の一つである。目覚ましい実績を上げている地域や高校の事例についてはオンラインで当該関係者の話を直接聞くなど、コンソーシアム全体の研修も行った。

(4) 目標の進捗状況、成果、評価

①コミュニティ・スクールの特性を活かした地域における実践的な主体との連携

1年次の地域文化学において、12講座と3回のフィールドワーク、2度の発表会（校内）を行った。外部から招いた地域内外の講師は12名となった。取組み発表は、1年生全員が12月の学校行事の中で、現段階での個々の研究計画について校内外の参加者から広く意見を求める形で行った。また、全体的な取組みについては保小中高一貫教育推進協議会が主催する教育フォーラム等の場で発表し、広く町民への周知を図るとともに、今後の教育活動への全面的協力を求めた。個々の生徒の評価については、講座やフィールドワーク等終了時に全体で行う振り返りを経て、活動内容やそれぞれの活動に応じて設定した3段階の目標（S:標準をはるかに上回るレベル/A:標準を上回るレベル/B:標準とし、ここまでは到達すべきレベルとし、活動内容に応じてわかりやすく言語化）に基づく自己評価等を記入したノートを提出させ、学年担任が指導助言を行いながら、到達度における評価を積み上げ、全講座終了後に最終的な評価をする方式で行った。この際に用いるループリックについては検討中であり、来年度には実用化する。意欲・能力等の変化については年度当初と年度末のアンケート（三菱UFJ高校魅力化評価システム）の比較を通して検証する。

②保小中高一貫教育を活かした小中学校との連携による白い森学習の段階的教育

中学生の白い森学習の活動への助言や支援としては、2月の連携型入学者選抜に係る関連資料の作成に際し、中学校の教員を通して行った。また、本校生が主体となって運営した地域の方々との対話会においては、中学生も交えたワークショップを行った。

③地域外での表現・交流の機会を増やすことによる多様性の確保

山形大学における研究活動（夏季休業中）に2名参加した。また、全国高等学校小規模校サミット（7月31日本校主体の実行委員会主催）前にファシリテーション研修（6月17日）を実施するとともに、町外で開催された高校生地域活動セミナー（10月20日）に8名、県探究型学習発表会（12月21日）に6名、東北芸術工科大学でのSCHシンポジウム（2月23日～24日）に6名が参加し、それぞれ意見交換や取り組みについてのプレゼンテーションを行った。また、2月29日にはYTS（山形テレビ）「提言の広場」に本校生3名が出演し、小規模校サミットを中心とした今年度の様々な活動で得た成果や地域との協働活動における思いや意義について発表した。

(5) 次年度以降の課題及び改善点

学校と地域や外部の人材とつなぐ高校魅力化コーディネーターの配置による講座等、学習活動の企画運営の効率化、ICT環境の整備、前述の評価に係るループリックの作成を進め、一層魅力的なカリキュラム開発を図る。

8 課題項目別実施期間

令和元年度 各教科および課外等における地域と協働した活動実績

○カリキュラム内(1年「総合的な探究の時間ー白い森未来探究学ー」)での活動

月日	曜日	時間	授業内容・講義テーマ	指導者	備考
5/9	木	2h	オリエンテーション	長岡、1学年団、2・3年生徒	ワークショップ、先輩の発表
6/3	月	4h	東北芸術工科大学研修「フィールドワーク研修」	東北芸術工科大学 准教授 岡崎エミ先生(十大学2・3年生8名)	町バス協力
6/21	金	2h	講座①A「ヤマウコギって何?」(理科)	山形県立産業技術短期大学校 校長 尾形健明先生	
			講座①B「木の魅力～森林の活用～」(林業)	農林大学校 准教授 齋藤朱美先生 置賜総合支庁森林整備課、小国町森林組合	町バス協力
7/2	火	2h	講座②「地域資源の発見と観光ルードづくり」	株式会社たむすび、東北活性	東北わくわくスクール2019利用
7/16	火	2h	講座③「横のつながりを大事にした地域と密着した歩み」	株式会社サンノー企画印刷	放課後にはアプリ制作講座
7/17	水	1h	1学期ふり取り	教務主任、1学年団	
7/24	水	1h			夏期講習の1コマとして実施
(8/4)	日	(3h)	白い森おぐに湖体験 -森と湖に親しむ旬間(横川ダム)-	各主催団体(教務主任、1学年団)	夏課題の場として推奨(参加者12名参加) あやめレンタカー依頼
9/10	火	13:25 ～ 15:15	講座④A:農業「小国で農、自然、人との出会いを大切に ～大自然の恵みでたくさんの方々の笑顔～」	小国地産株式会社(ハートランドファーム)	ハートランドファーム園場にて農作業(枝豆)実習+講話
			講座④B:歴史イベント「敷石道から生まれた新しいおまつり ～時代を超えてそこにあるものをつないでいく～」	黒沢峠保存会	講話(本校)+黒沢峠政策
			講座④C:福祉「幸せな未来の作り方～愛と笑顔のあるところに幸せはある～ (傾聴とは)」ライブ講座♪	医療法人社団 緑愛会 居宅介護支援事業所 満天の家 介護支援専門員	講話+ワークショップ(本校)
9/17	火	2h	講座⑤A:経済「お金って何?～お金を稼ぐということは“人に感謝されることを見つけて実践する”こと～」	株式会社山のむこう(学習塾ESTEM)	講話+ワークショップ(本校)
			講座⑤B:和菓子製造「1軒のいい菓子屋さんがあるだけで、町全体が元気になる」	株式会社 香月	講話+和菓子作り体験(本校)
10/3	火	2h	おぐに町探検オリエンテーション(グループング、コース設定)	小国町役場 総合政策課 教務主任、1学年団	6グループ編成
10/8	火	2h	おぐに町探検準備(アポイントメント、コースの確定、事前学習)	教務主任、1学年団	
10/29	火	6h	おぐに町探検(6グループに分かれて)	教務主任、1学年団	探検は1～5h、6hは振り取り
3/30	水	1h	簡易発表・まとめ		
11/11	月	6h	いいで町めぐり(3コースに分かれて)	教務主任、1学年団	めぐりは1～5h、6hは振り取り
11/14	木	2h	講座⑥:小国町or小国高校のPR動画を作成しよう	学校法人 佐藤栄学園 さとえ学園小学校 ICT・AL教育担当 評価者:小国町役場総合政策課、地域おこし協力隊 ハートランドファーム社長、他地域の方々	
11/21	木	2h	プレゼンテーション研修	株式会社山のむこう(学習塾ESTEM)	
12/5	木	2h	2学期のまとめ、発表準備(テーマ決め、原稿準備、リハーサル等)	教務主任、1学年団	学校祭に向けての準備
12/12	木	2h			
12/14	土		「やってみたい」発表(1人1発表×4ターンの程度実施)	学校祭に来てくださった地域の方々、在校生(2・3年)	学校祭にて実施
12/17	火	1h	発表のふり取り(まとめ、共有)	教務主任、1学年団	
1/24、31	金	1h×3	Let's Talk(テーマのブラッシュアップ)	教職員全員(生徒の希望した教職員との対話タイム)	
2/18	火				
2/22	土		マイプロジェクトアワード東北summit2019観覧	希望1学年生徒5名、教員3名	教員の研修も兼ねる
2/25	火	1h	今年度のふり取り(まとめ)、次年度への展望	教務主任、1学年団	

○カリキュラム内(2・3年「総合的な学習の時間」)での活動

月日	曜日	時間	担当	対象生徒	主な内容	指導者・支援者	備考
6/4～5		12h	3学年団、進路指導課	3年就職希望者	インターンシップ(キャリアアップウィーク)	地域企業	
7/9～11		18h	2学年団、進路指導課	2年	インターンシップ	地域企業	
7/10	水	2h	教頭、3学年団	3年	高校生議会+町議との意見交換会	小国町役場	今年で3年目
9/4	水	1h	3学年団、進路指導課	3年就職希望者	企業人面接	小国町商工会(面接官8名程度)	例年実施
10/25	金	1h	2学年団	2年	マタギ文化について学ぶ(アメリカ修学旅行事前学習)	民宿越後屋	
3/13	金	3h	1・2学年団、教務図書課	1・2年	町内企業等若手社員と高校生との懇談会	小国町総合政策課、株式会社ジョブウェブ、個人事業主(城学連携事業経験者)、町内企業の若手社員	今年で2年目 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
3/18	水	2h	1・2学年団、進路指導課	1・2年	校内企業説明会		新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

※「総合的な学習の時間(現行)」 「総合的な探究の時間(新学習指導要領を受けて今年度より先行実施)」とは…

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す授業です。要するに、教科や科目等の枠を超えて探究する価値のある課題に取り組んでいく授業になります。

令和元年度 各教科および課外等における地域と協働した活動実績

○カリキュラム内(各教科・特別活動(ホームルーム・学校行事・生徒会活動))での活動

月日	曜日	時間	教科	担当	対象生徒	主な内容	指導者・支援者	備考
4/26	金	午後	LHR	2学年団・3学年団	2・3年全員	満天の家 お年寄りとの交流会・清掃活動	満天の家 ケアマネージャー	
6/10 6/13	月 木	2h 2h	理科	教科担当教員	3-2選択者 2-2選択者	玉川の水質調査 沖庭地区の川の水質調査		町バス協力
7/3	水	1h	国語 家庭	教科担当教員	1-1	人権教室(ジェンダーやLGBTに関する理解を深め、多様性の承認の一助とする)	洞松寺住職 他人権擁護団体の方々	
9/6 9/20	金	2h 4h	家庭	教科担当教員	2-1	道の駅にて郷土料理のフィールドワーク 山形大学フィールドプロジェクト準備	白い森おぐに駅長 他 山形大学 小酒井先生、矢口先生	
9/9	月	3h	体育	教科担当教員 養護教諭	1-1	普通救命講習	西置町行政組合消防署小国分署 3名	普通救命講習修了証を取得 2年目
9/12	木	2h	HR	教頭、担当教員	1・2年	生徒と地域の大人の対話会「幸せって何だろう？」 (ワークショップ、トークフォークダンス)	山形青少年健全育成会議 小国地区担当 小国町教育委員会	
10/9	水	3h	体育	教科担当教員	3-1	パークゴルフ演習 (水源の郷パークゴルフ場にて)	小国町パークゴルフ協会	町減免申請あり
10/18	金	3h	家庭	教科担当教員	1-1	「活力あふれる食育推進事業」強いカラダを作る ための食育講座と調理実習	山形大学 矢口友理先生、県教育庁職員 1名、小国町健康福祉課4名	
10月		3h程度	英語	教科担当教員	2-2、3-2 選択者	小国町の農家よりいただいたカボチャを使用して のハロウィン演出	小国町農家	3年目、学校敷地内を装飾 美術の授業でもカボチャを使用し ての作品づくり
11月			美術	教科担当教員	2年 授業選択者	白い森芸術祭町民作品展への出展	小国町教育委員会	2年目、昨年度はサミット・ボラン ティアアワードの成果発表
11月		1h	国表	教科担当教員	2・3年・職員	小国町芸文展示会 俳句・短歌の出展		
12月			美術	教科担当教員	2年 授業選択者	アスモコミュニティスペースでの美術展	小国町役場、ショッピングセンターアスモ	
12/12	木	1h	行事	担当教員	代表生徒	学校祭 模擬店出店に関する防火講習	高島消防署員1名	2年5名・1年1名
12/14	土		行事	担当教員		学校祭 地域の大人との模擬店		
12/17	火	2h	保健	教科担当教員	1-1	「交通安全」に関する授業	小国警察署 地域交通課長	
1~2月		4hx4回	体育	教科担当教員	1・2年	スキー授業(横根スキー場)	地域の方々(4~5名)	例年実施
1/21	火	1h	家総	教科担当教員	1-1	「フェアトレード」に関する授業(調理実習)	旬彩工房	
1/21	火	1h	現社	教科担当教員	2年	職業について考える	小国警察署員5名	
2/21	金	2h	保健	教科担当教員	2-1・2	SDGsカードゲームを使っている環境教育	まよひが企画	

○カリキュラム外での活動(課外活動)

月日	曜日	時間	関連	担当	対象生徒	主な内容	指導者・支援者	備考
4月				担当教員	希望生徒	空き家見学	小国町役場総合政策課	今後の活動企画に活かす目的 参加生徒2名
4/29	月	朝1h			希望生徒	小国町春の道路一斉清掃	白い森おぐに保小中高一貫教育推進協議会	参加生徒9名
5/19	日				希望生徒	「アスモに交流の場を」打合せ	旬彩工房	参加生徒2名
6/10	月	昼休み		担当教員	参加生徒	昨年度の傾聴ボランティア参加者へのメッセージ 伝達とミニライブ	満天の家 ケアマネージャー	参加生徒4名
6/17	月			担当教員	希望生徒	小規模校サミットファミリーーター研修(東北芸術 工科大学)	岡崎エミ先生、小野寺真希さん	
7/1	月	午後		担当教員	全校生徒	小規模校サミットリハーサル ~地域の方々を交えて~	東北芸術工科大学 准教授 岡崎エミ先生 荒屋デザイン 小野寺真希さん 小国町役場総合政策課	
7/6	土	終日		希望職員	希望生徒 (希望職員)	Let's Go 青春~白い森ハーフ縦断~	小国町総合政策課、地域おこし協力隊 他	事前に生徒と打ち合わせあり 参加生徒11名、職員3名
7/16	火	1h		教務主任	希望生徒 (希望職員)	アプリ制作の基礎講座	株式会社サンノ企画印刷	希望生徒6名
7/17	水	午後		全職員	全校生徒	サミット全校ミーティング	小国町役場総合政策課、地域おこし協力隊	
7/30	火				希望生徒	小国町小中学生サイエンス講座		ボランティアスタッフとして生徒6名 参加
6・7月				担当教員	コアメンバー	サミット総合企画助言	東北芸術工科大学 准教授 岡崎エミ先生 小国町役場総合政策課、卒業生	米沢有為会 地域と私たちの未来 を考える小論文コンテスト 優秀賞
6・7月				担当教員	希望生徒 コアメンバー	サミットレセプション企画協力	満天の家 ケアマネージャー 道の駅駅長・料理長	
6・7月				担当教員	担当生徒	サミット昼食企画・準備	PTA	
7月				担当教員	担当生徒	サミットドローン撮影講習会・協力	地域おこし協力隊 根本俊輔さん	
7月				担当教員	担当生徒	サミット広報・小国町紹介ブース	遠藤愛さん・八幡竜馬さん・根本俊輔さん	参加生徒4名
7月				担当教員	担当生徒	サミット救護・熱中症対策レベルアップ講座	消防小国分署	参加生徒8名
8/18	日				希望生徒	小国町サマースポーツ大会		運営補助協力生徒4名
8/27	火	放課後	保健委員会	養護教諭、理科教員	保健委員	お掃除ロボット開発 (小国小学校でのアンケート調査)		TEPIAチャレンジ事業WEB面接 デザセンコンテスト1回戦突破
9/21	土	午後	(英語)	外国語科教員	希望生徒	イングリッシュ・アドベンチャー	小国町教育委員会	例年実施、希望生徒4名
9/26	木	1h	(家庭)	家庭科教員	希望生徒 (希望職員)	認知症サポーター養成講座	小国町健康福祉課 主任保健師 他	受講後、オンライン講習付与 希望生徒15名、職員7名
10/2	水	午後		担当教員	希望生徒	傾聴ボランティア ~回想法を用いたアプローチ~	満天の家 ケアマネージャー	事前に生徒との打ち合わせや指導 あり、希望生徒15名、2年目、介護 実践発表会で「教育改革と運動した 新たな地域コラボの創造」と題し 研究発表
10/6	日			担当教員	希望生徒	自然楽校でお祭りだ! 小中学生活動サポートボランティア	山形県飯豊少年自然の家	参加生徒1名

10/11・17・24・31・11/6	木水	2hx5回		担当教員	希望生徒(希望職員)	アントレプレナーシップ教育講座(全5回)	株式会社山のむこう 代表取締役 学習塾ESTEM(エステム)	謝礼等は地域協働より支出 希望生徒5名、ビジコンと絡めて
10/17	水	午前		養護教諭	希望生徒	献血ボランティア	小国町赤十字奉仕団、小国町健康福祉課 置賜総合庁舎	3学期に献血協力者・希望者に対し、交流会を開催予定。希望生徒8名
10/19	土	午後		担当教員	希望生徒	小国町ハロウィンイベント	地域おこし協力隊	事前に希望生徒との企画・準備全5回、希望生徒13名
10/20	日	午後		担当教員	希望生徒	置賜地区高校生地域活動セミナー(堀江守弘さん、嵯原紘子さんの講話と地域の高中生とのワークショップ)	小国町教育委員会 置賜教育事務所 社会教育課	希望生徒8名、町バス協力、2年目
10/23	水	午前		教頭、ALT		小国町警察署員対象の英語運用力向上セミナー	本校英語科職員(ALT、教頭)による指導	
10/27	日			担当教員	希望生徒	災害非常時の炊き出し訓練 小国町赤十字奉仕団との交流会	小国町赤十字奉仕団、小国町健康福祉課	事前に全校集会で呼びかけ 参加希望生徒6名
11/7～2月	木	集会 放課後		担当教員	全校生 希望生徒	おぐにビジネス創出塾～新規事業の立ち上げとアントレプレナーシップ教育～	NPO法人 札幌ビズカフェ理事長 石井宏和さん 小国町役場	アントレ教育をさらに具体化・ビジネスプランの作成とコンテスト出場
11/9	土			担当教員	希望生徒	おぐにこどもの日まつり だがしや乗校子ども体験ブースの運営	小国町教育委員会	
11/28	木	午後		担当教員	希望職員 地域の方々	SDGs2030カードゲーム	まよひが企画	若者サポーター支援制度を利用
12/3	火	午後		担当教員	希望生徒	傾聴ボランティア	満天の家 ケアマネージャー	
12/3	火	午後		担当教員	希望生徒 3年2名	おぐに白い森ビジネス創出塾	小国町総合政策課 白い森おぐにビジネス創出塾事務局	
12/7	土	午後		全職員	担当生徒	白い森おぐに教育フォーラム	小国町教育委員会	
12/14	土	午後		担当教員	全校生	満天の家より雑巾贈呈		日頃の活動への感謝の気持ち
12/21	土	終日		担当教員	担当生徒	山形県探究型学習研究発表会	山形県教育委員会	生徒6名参加
12/26	火	午後			希望生徒 3年2名	おぐに白い森ビジネス創出塾	小国町総合政策課 白い森おぐにビジネス創出塾事務局	
1/11	土	午後		担当教員		地域未来を拓く若人フォーラムin置賜	地域と係わる探究型学習成果パネル(ポスター)展示	「白い森未来探究学(1年)おぐに町探検レポート」「山形県探究型学習研究発表会でのポスター」展示
1/13	月	終日		担当教員	希望生徒	N高校生との交流(職業体験「猟師マタギに触れる雪合宿」in小国町)	小国町役場総合政策課	参加生徒5名
1/25	土	午後			参加生徒 3年2名 参加職員 1名	おぐに白い森ビジネス創出塾 ビジネスプランコンテスト	小国町総合政策課 白い森おぐにビジネス創出塾事務局	起業アイデア賞「小国のおいしいカフェと食堂」、オーディエンス賞「地方活性化バーチャルチューバー」をそれぞれ受賞
2/4	火	午後		担当教員	希望生徒	除雪ボランティア	小国町社会福祉協議会	生徒10名希望→雪不足で中止
2月					希望生徒	小国町ウインタースポーツ大会		希望者1名、小雪のため中止
2/7	金	午後		担当教員	希望生徒	生徒と公務員との懇談会	山形市役所、小国町役場	
2/20	木	午前		3年学年団	3年全員	高校生のための身近な法律講座	山形県司法書士会	
2/27	木	午前		3年学年団	3年全員	年金セミナー	米沢年金事務所	
3/10	火	午後			希望生徒	健康生活支援講習	小国町赤十字奉仕団	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
通年				生徒保健課長	全校生	旬彩工房のパン販売、ヤクルト販売	旬彩工房さん、ヤクルトさん	
7月～12月				担当教員	希望生徒2 年女子1名	介護職員初任者研修	町介護研修担当者	研修修了証取得

9 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

10 所要経費

別添のとおり

【担当者】

担当課	小国町教育委員会教育振興課	T E L	0238-62-2141
氏名	仁科 清春	F A X	0238-62-2143
職名	教育振興課長	e-mail	kiyoharu-n@town.oguni.yamagata.jp